

編集委員会だより

「日々の天気図」と「日本の天候」の連載開始について

長らく気象関係者に愛読されてきた気象庁監修・日本気象協会発行の月刊誌「気象」が2002年3月号をもって廃刊となったのをうけて、「天気」編集委員会では「気象」に連載されていた記事のうち会員の皆様にとっても有用なものを「天気」に掲載することを、気象庁の関連部局にもご相談しながら検討して参りました。その結果、理事会及び気象庁の承認を得て、「気象」の記事の中から、とりあえず「天気図日記」「日本の天候(毎月)」「日本の天候(大雨)」「日本の天候(台風)」に対応する記事を掲載できる見通しになりましたので、ご報告いたします。

「天気図日記」は、気象庁作成の速報天気図をもとに日本気象協会がトレースし直した天気図、及び日本気象協会が作成した日記文を気象庁天気相談所が監修したものを掲載していましたが、今回「天気」に掲載する「日々の天気図」欄は気象庁予報部が作成した確定天気図に天気相談所が作成した記事文をつけて掲載し

ます。また、「気候情報」欄に新設する「20XX年X月の日本の天候」は気象庁統計室の作成によるものです。

これらの記事の連載は、2002年5月号より開始し、5月号なら3月分というふうには、2か月遅れで掲載します。但し、5月号に関しては、2002年2月分と3月分の2か月分をまとめて掲載します。なお、「日本の天候(大雨)」「日本の天候(台風)」は、2003年の2～3月頃に掲載する予定です。

これらの記事の掲載に向けて、多大なご協力をいただいた気象庁総務部、予報部、観測部及び日本気象協会の関係者の皆様に深く感謝いたします。

なお、「天気」ではこれ以外にも、会員の皆様にとって有用かつ読みやすい記事を掲載して行く予定です。会員の皆様も、こんな記事がほしいというご希望がありましたら、遠慮なく編集委員会までご意見をお寄せ下さい。



トヨタ財団2002年度研究助成の公募

トヨタ財団では「多元価値社会の創造」を基本テーマとして、公募による研究助成を行います。特に、次の4つの課題に重点を置いて助成します。

- (1) 多様な諸文化の相互作用：グローバル、リージョナル、ローカル
- (2) 社会システムの改革：市民社会の発展をめざして
- (3) これからの地球環境と人間生存の可能性
- (4) 市民社会の時代の科学・技術

研究助成A（個人研究対象）と研究助成B（共同研

究対象）があります。助成金額は合計2億円程度、助成期間は本年11月1日より1～2年間とします。

申請用紙は下記に送料を添えて請求して下さい。公募期間中は <http://www.toyotafound.or.jp> からPDFファイルとしてダウンロードできます。

申込先：〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル37階私書箱236号
(財)トヨタ財団研究助成係

応募期間は本年5月20日まで（当日消印有効）